

は じ め に

平成 27 年度は、新たな「滋賀県基本構想」と「滋賀県行政経営方針」に沿って取り組む初年度の予算として、①対話と共感、協働のもと、先駆的・重点的な施策に取り組むことにより、「夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀」の実現を目指すとともに、②安定的で持続可能な財政基盤の確立に向けて、引き続き歳入・歳出両面から財政健全化が図られるよう予算編成に取り組みました。

平成 27 年度の当初予算の規模は、これまでより計画的に進めてきた大規模事業である学習船建造事業や県立高等学校の再編対策、警察施設の整備などに要する経費が増加しているほか、介護保険給付費県費負担金や保育所等にかかる給付費の支給に要する経費などを含む扶助費、また地方消費税率の引上げに伴う市町交付金などの増加により、3年連続して前年度当初予算を、2年連続で 5,000 億円を上回りました。

予算編成に当たっては、財政健全化の推進のため、前年度に比べ県債の発行規模の抑制に努めたことから、財政の健全性を示すプライマリーバランスは、前年度に引き続き黒字を確保し、臨時財政対策債などを除く実質的な県債残高についても、これまでと同様、減少傾向を維持しました。

こうした中、「夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀」の実現に向けて、県民の皆さんとともに「新しい豊かさ」を追求するため、①「すべての人々に居場所と出番を～人と人、人と自然の共生社会の実現～」、②「世界から滋賀へ、滋賀から世界へ」、③「大規模災害などへの備え」という3つの視点を重視して、「基本構想」に掲げる7つの重点政策に沿った施策に取り組めるよう努めたところです。

この財政事情は、本県の財政がどのような状況にあるのか、またどのような運営をしているのかなどを県民の皆さんに広く知っていただくため、年2回(5月と11月)定期的に公表しているものです。

今回は平成 27 年度予算の概要、平成 26 年度下半期における予算の補正状況やその執行状況、そして公営企業の業務状況などについてご報告するとともに、経年変化で見た県財政の状況や各種財政指標の状況などをお知らせします。

目 次

I 滋賀県財政の動向

1 経年変化で見る滋賀県財政の状況	1
2 財政指標から見た滋賀県財政	10
3 財政健全化に向けた取り組み	12

II 一般会計および特別会計の状況

1 平成27年度予算の概要	14
(1) 当初予算編成の背景	14
(2) 当初予算編成の基本方針	15
(3) 当初予算の規模等	16
(4) 当初予算のポイント	18
(5) 一般会計当初予算の内容	25
(6) 特別会計当初予算の状況	33
2 平成26年度下半期の財政状況	34
3 収益事業の経営状況	38

III 公営企業の業務状況

1 病院事業の業務状況	39
2 工業用水道事業の業務状況	43
3 水道用水供給事業の業務状況	47

IV 健全化判断比率および資金不足比率の概要

1 健全化判断比率および資金不足比率の概要	52
-----------------------	----

付 表	55
-----	----
